

製品安全データシート

作成 2008 年 06 月 10 日
改定 2010 年 08 月 18 日

1. 製品及び会社情報

製品名 : GE1 Buffer
製品コード : 314-06371

会社名 : 株式会社ニッポンジーン
住所 : 富山県富山市問屋町 1-8-7
担当部門 : 研究試薬部 品質管理課
電話番号 : 076-451-6548
FAX 番号 : 076-451-6547

2. 危険有害性の要約

GE1 Buffer (ドデシル硫酸ナトリウム) として記載
人の健康に対する有害な影響 : 吸入又は経口摂取すると有害である。眼や粘膜に付着すると刺激がある。長期暴露により不快感、皮膚の炎症等を起こすことがある。
環境への影響 : 生分解性良好。水生生物に対して毒性がある。
物理的及び化学的危険性 : 通常の取扱いでは、危険性は低い。
GHS 分類 : 分類できない。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物区別 : 混合物
化学名または一般名 : ドデシル硫酸ナトリウム
濃度 : 2%
化学特性(化学式) : $C_{12}H_{25}O_4SNa$
CAS 番号 : 151-21-3
官報公示整理番号 : 化審法 : 2-1679
危険有害成分 : 特になし

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗い流す。炎症を生じた時は医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合 : 直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。異常があれば、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
火災時の特有危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	
環境に対する注意事項	: 作業の際には適切な保護具を着用する。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
回収、中和	: 環境中に放出してはならない。 : 漏出した液は、ウエス、雑巾で出来るだけ回収し、こぼしたところを完全に拭きとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項	: 漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 適切な保護具を着用する。
保管	
適切な保管条件	: 直射日光を避けて、室温で保管する。
技術的対策	: 特になし。
混触禁止物質	: データなし。
安全な容器包装材料	: ポリエチレン、ポリプロピレン

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
管理濃度 作業環境評価基準	: 設定されていない。
許容濃度 ACGIH (TLV)	: データなし。
日本産業衛生学会	: 設定されていない。
保護具	
呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 保護手袋
目の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

形状、色	: 液体
臭い	: 無臭
pH	: データなし。
融点	: データなし。
沸点(初留点)	: データなし。
引火点	: データなし。
自然発火温度	: データなし。
爆発範囲(上限・下限)	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
比重	: データなし。
溶媒に対する溶解性	: 水に混和する。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件では安定
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: 日光、熱

混触禁止物質 : データなし。
危険有害な分解生成物 : データなし。

11. 有害性情報

GE1 Buffer (ドデシル硫酸ナトリウム) について記載

急性毒性 : 経口 ラット LD₅₀ : 1288mg/kg¹⁾
ドデシル硫酸ナトリウムの含有量は 2% のため 64400mg/kg となる。
GHS 分類 区分外に相当する。

皮膚腐食性・刺激性 : 皮膚 ヒト 25mg/24 時間 軽度¹⁾
含有量は 2% のため GHS 分類 軽度の皮膚刺激 (区分 3) に相当する。

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データなし。
呼吸器感受性又は皮膚感受性 : データなし。
生殖細胞変異原性 : データなし。
発がん性 : データなし。
生殖毒性 : データなし。
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) : 眼、皮膚及び気道を刺激する。²⁾
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) : 反復または長期の皮膚への接触により、皮膚炎を引き起こすことがある。²⁾
吸引性呼吸器有害性 : データなし。

12. 環境影響情報

GE1 buffer (ドデシル硫酸ナトリウム) について記載

生態毒性 : 甲殻類(オオミジンコ属) EC₅₀ : 1.8mg/L/48H³⁾
ドデシル硫酸ナトリウムの含有量は 2% のため 90mg/L/48H となる。
GHS 分類 水生環境急性有害性は水生生物に有害 (区分 3) に相当する。

残留性・分解性 : データなし。
生体蓄積性 : データなし。
土壌中の移動性 : データなし。
その他のデータ : log Pow : 1.6²⁾

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 焼却法 少量ずつオガクズ等の可燃物に吸収させて、開放型の焼却炉で焼却
なお上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理
業者に委託処理する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 非該当
国連分類 : 非該当
海洋汚染物質 : 非該当
注意事項 : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、
荷くずれの防止を確実にこなう。

15. 適用法令

消防法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
化学物質管理促進法 (PRTR 法) : 第一種指定化学物質 No.275

16. その他の情報

引用 原料試薬供給先から提供された MSDS

1) RTECS (1985-1986)

国際化学物質安全性カード

2) ICSC : 0502

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 HP 「化学物質総合情報提供システム」

化管法対象物質(PRTR・MSDS)の基準となった有害性データ : 1-275

3) IUCLID

*危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

*本データシートは情報を提供するものであって、記載内容を保証するものではありません。